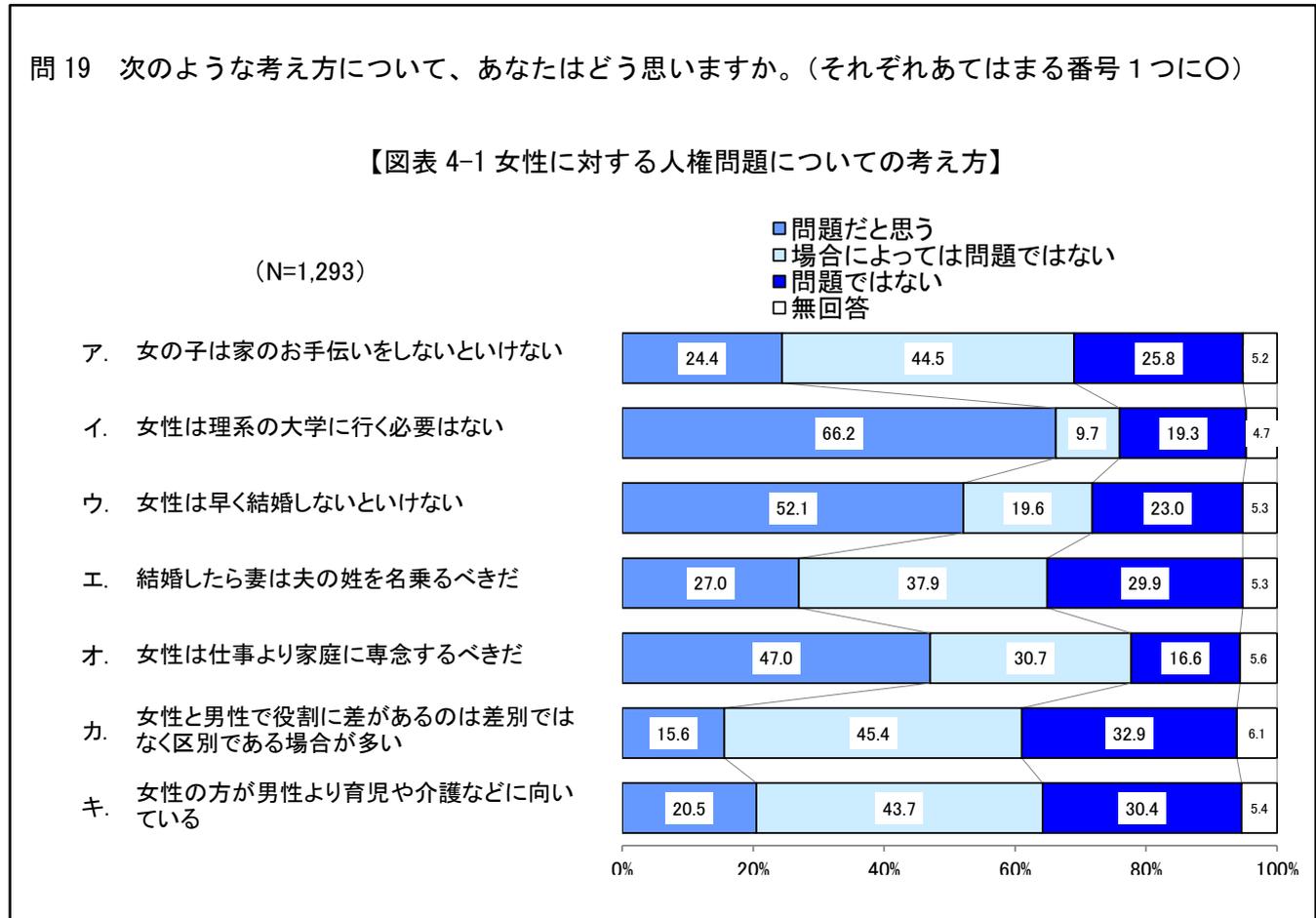


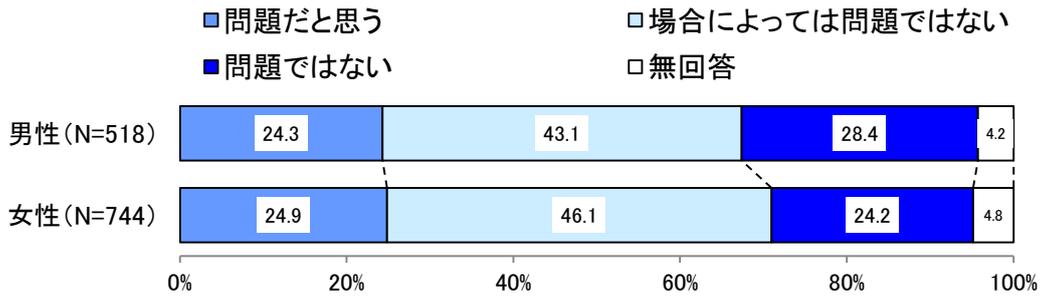
4 女性の人権について

(1) 女性に対する人権問題についての考え方



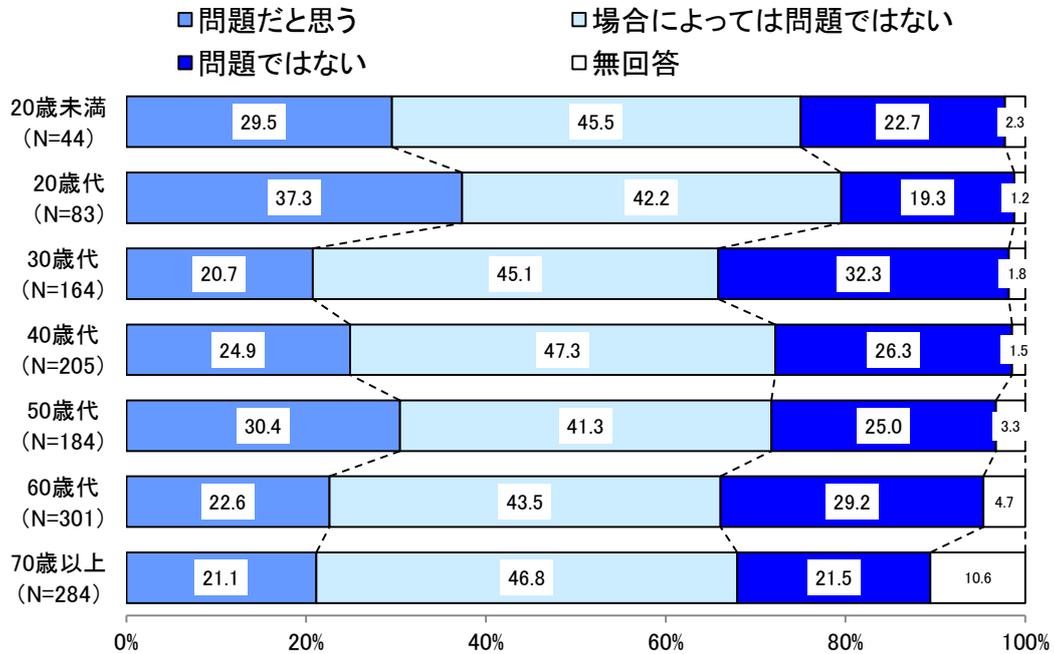
女性に対する人権問題についての考え方として、「問題だと思う」が最も高い項目は、「イ. 女性は理系の大学に行く必要はない」(66.2%)、「ウ. 女性は早く結婚しないといけない」(52.1%)、「オ. 女性は仕事より家庭に専念するべきだ」(47.0%)で、「場合によっては問題ではない」が最も高い項目は、「ア. 女の子は家のお手伝いをしないといけない」(44.5%)、「エ. 結婚したら妻は夫の姓を名乗るべきだ」(37.9%)、「カ. 女性と男性で役割に差があるのは差別ではなく区別である場合が多い」(45.4%)、「キ. 女性の方が男性より育児や介護などに向いている」(43.7%)となっている。「問題ではない」が最も高い項目はないが、すべての項目で約2~3割を占めている。(図表 4-1)

【図表 4-1-1 性別 ア.女の子は家のお手伝いをしないといけない】



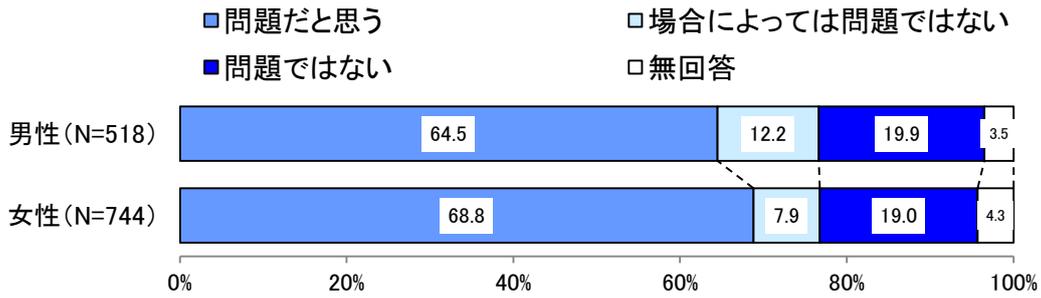
「ア.女の子は家のお手伝いをしないといけない」を性別で見ると、男女ともに「問題だと思う」は2割余りとなっている。(図表 4-1-1)

【図表 4-1-2 年齢別 ア.女の子は家のお手伝いをしないといけない】



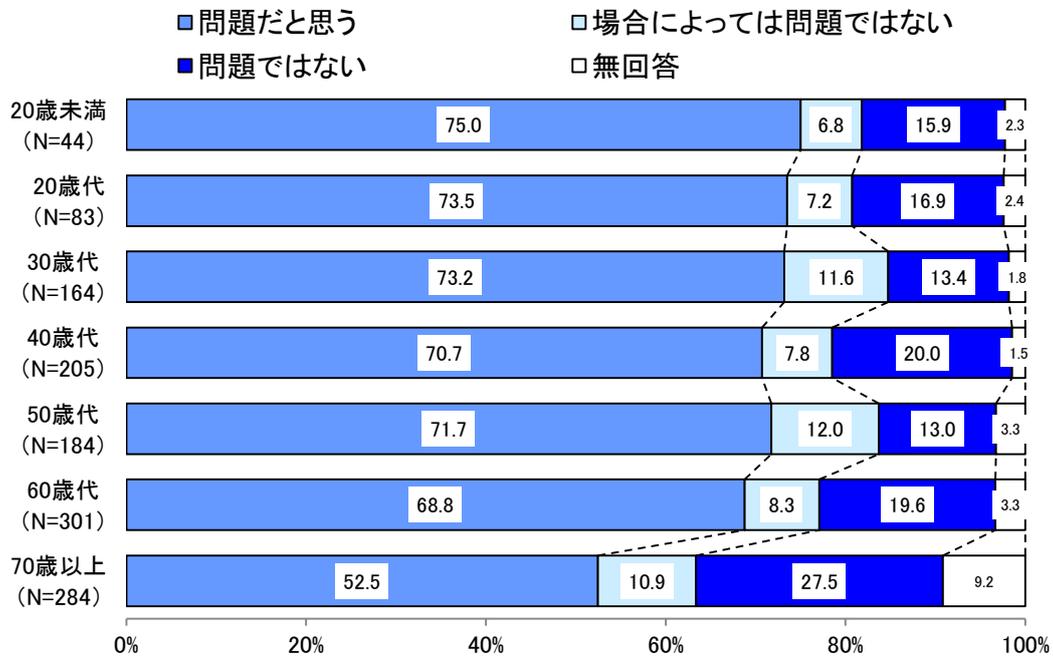
「ア.女の子は家のお手伝いをしないといけない」を年齢別で見ると、「問題だと思う」は20歳代では約4割だが、それ以外の年齢では2~3割となっている。いずれの年齢でも「場合によっては問題ではない」が最も高くなっている。(図表 4-1-2)

【図表 4-1-3 性別 イ. 女性は理系の大学に行く必要はない】



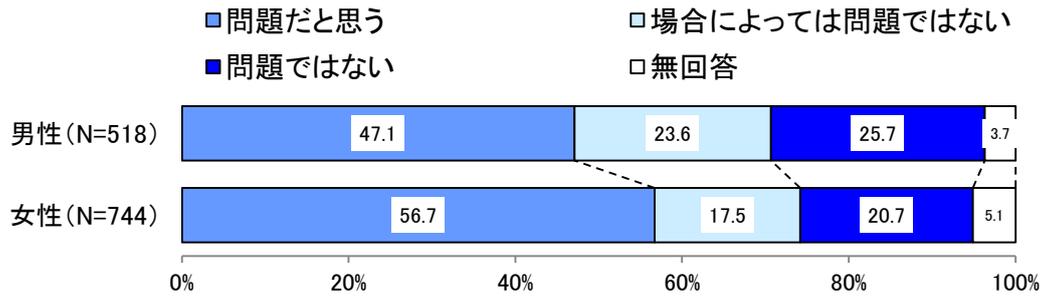
「イ. 女性は理系の大学に行く必要はない」を性別で見ると、女性は男性と比べて「問題だと思う」が 4.3 ポイント高くなっている。(図表 4-1-3)

【図表 4-1-4 年齢別 イ. 女性は理系の大学に行く必要はない】



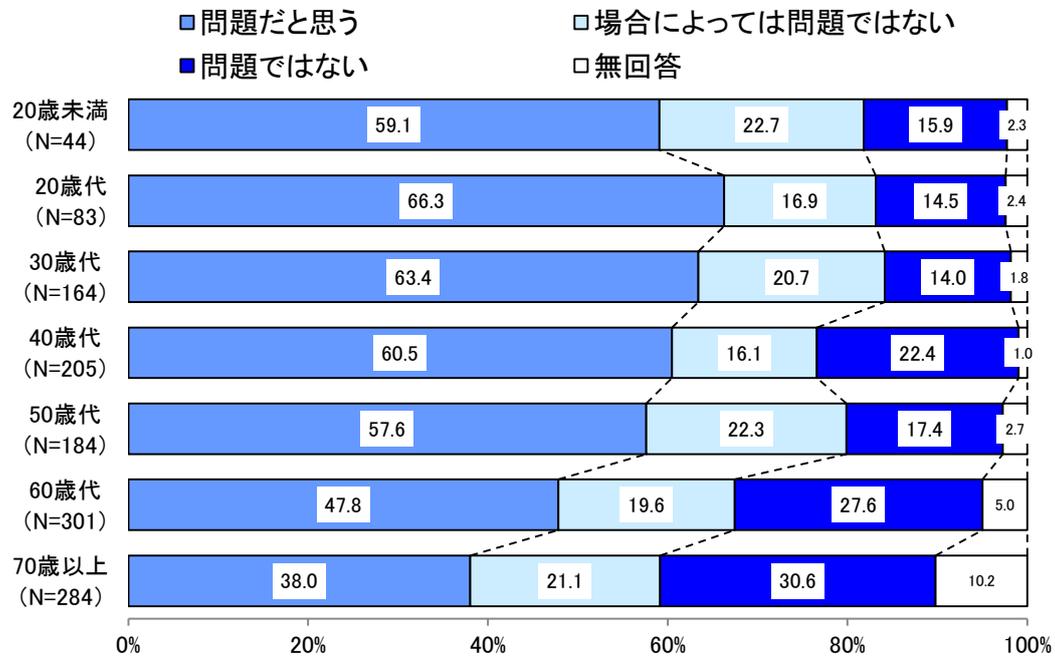
「イ. 女性は理系の大学に行く必要はない」を年齢別で見ると、「問題だと思う」は 60 歳代以下では 7 割前後だが、70 歳以上では約 5 割にとどまっている。(図表 4-1-4)

【図表 4-1-5 性別 ウ. 女性は早く結婚しないといけない】



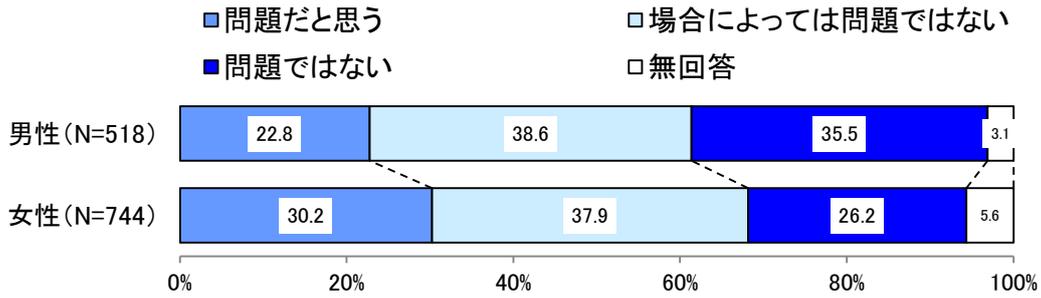
「ウ. 女性は早く結婚しないといけない」を性別で見ると、女性は男性と比べて「問題だと思う」が 9.6 ポイント高くなっている。(図表 4-1-5)

【図表 4-1-6 年齢別 ウ. 女性は早く結婚しないといけない】



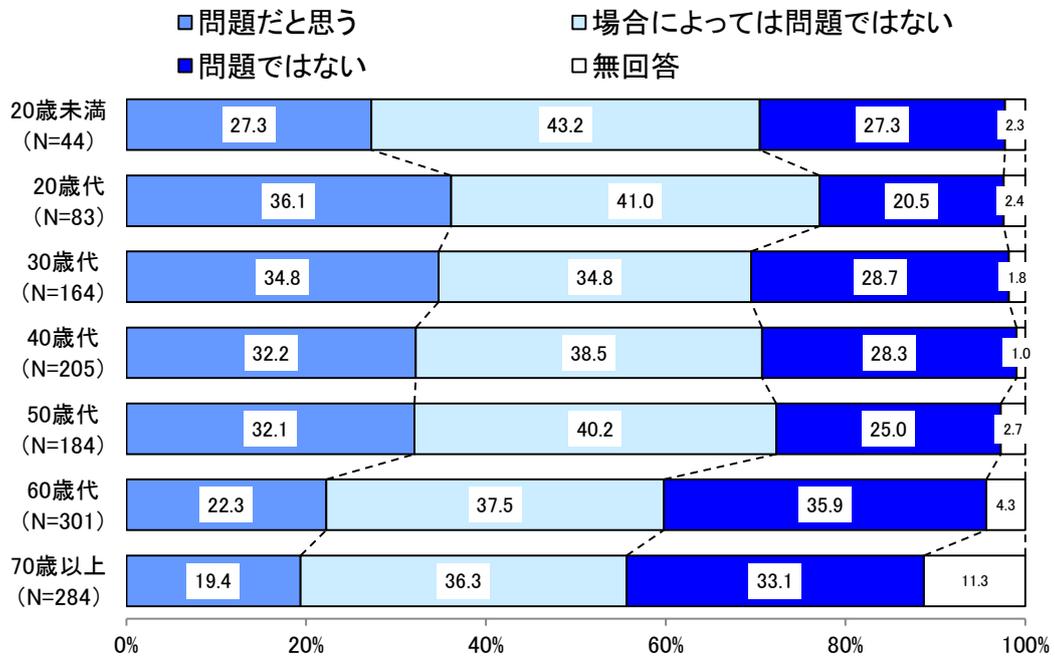
「ウ. 女性は早く結婚しないといけない」を年齢別で見ると、おおむね年齢が上がるにつれて「問題だと思う」が低くなっており、60歳代以上では半数を下回っている。(図表 4-1-6)

【図表 4-1-7 性別 エ. 結婚したら妻は夫の姓を名乗るべきだ】



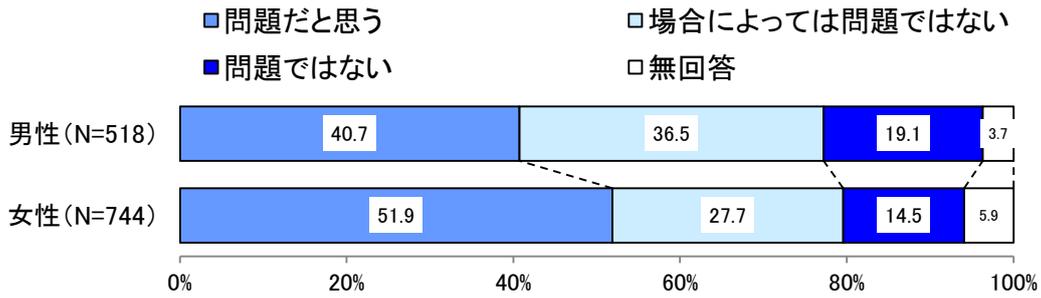
「エ. 結婚したら妻は夫の姓を名乗るべきだ」を性別で見ると、女性は男性と比べて「問題だと思う」が 7.4 ポイント高くなっている。(図表 4-1-7)

【図表 4-1-8 年齢別 エ. 結婚したら妻は夫の姓を名乗るべきだ】



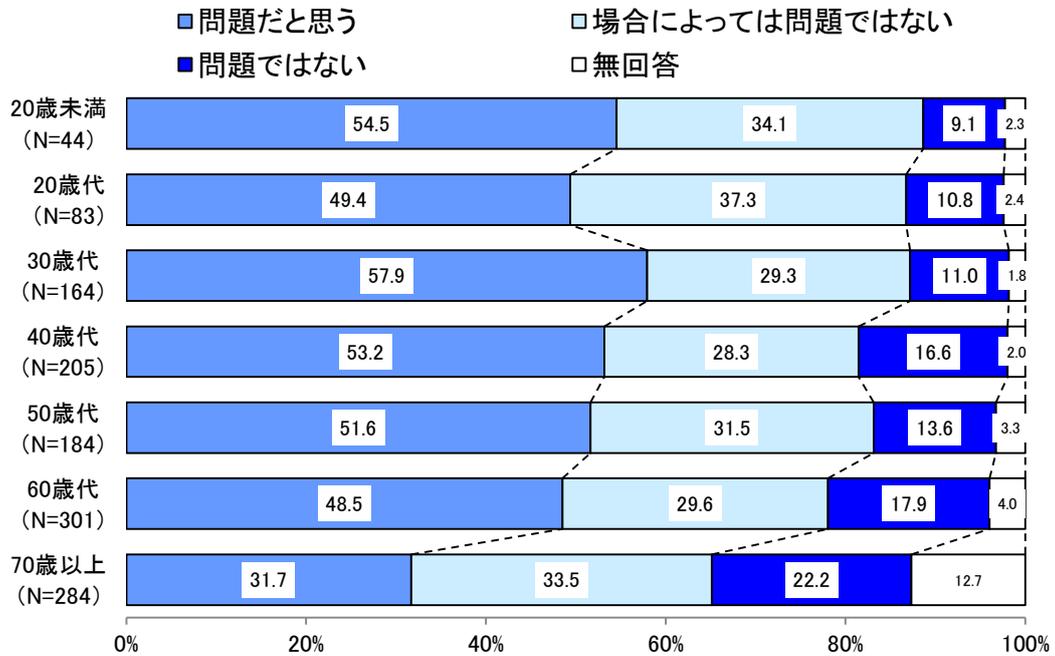
「エ. 結婚したら妻は夫の姓を名乗るべきだ」を年齢別で見ると、「問題だと思う」は 50 歳代以下では 3 割前後、60 歳代以上では 2 割前後となっている。また 60 歳代以上は「問題ではない」が 3 割を超えている。20 歳未満は「問題ではない」が他の年齢と比べて高いわけではないが、「場合によっては問題ではない」が他の年齢と比べて高いため、「問題だと思う」が 3 割を下回っている。(図表 4-1-8)

【図表 4-1-9 性別 オ. 女性は仕事より家庭に専念すべきだ】



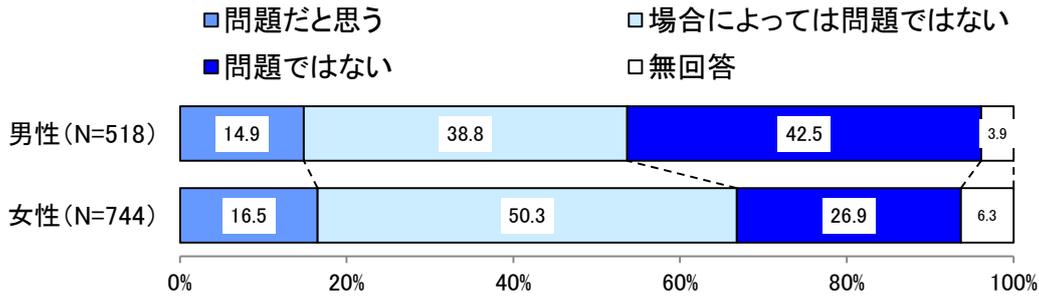
「オ. 女性は仕事より家庭に専念すべきだ」を性別で見ると、女性は男性と比べて「問題だと思う」が 11.2 ポイント高くなっている。(図表 4-1-9)

【図表 4-1-10 年齢別 オ. 女性は仕事より家庭に専念すべきだ】



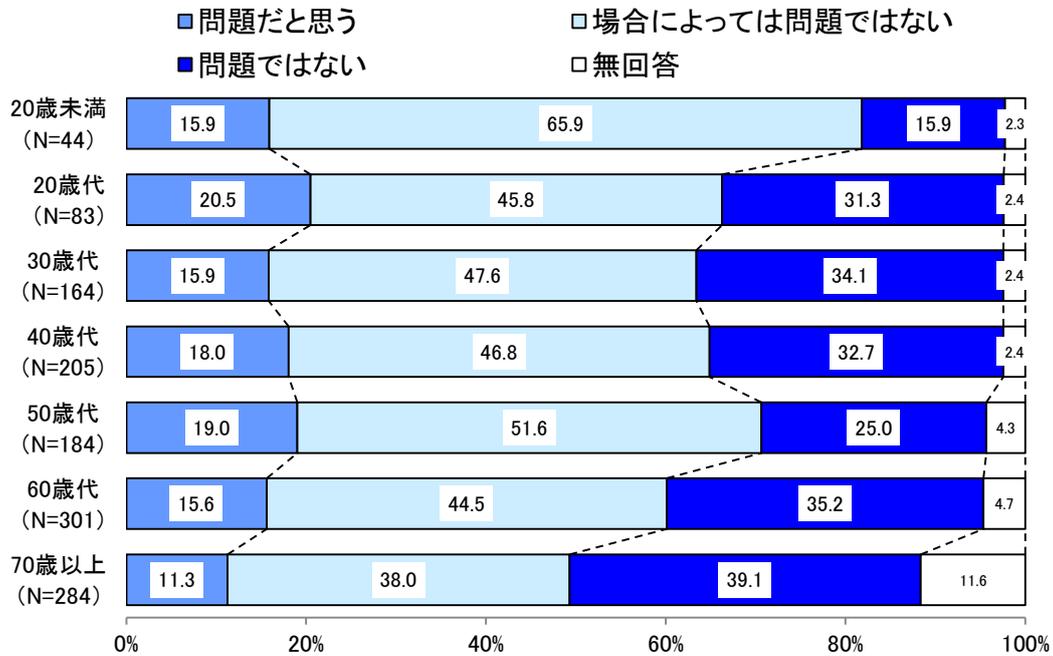
「オ. 女性は仕事より家庭に専念すべきだ」を年齢別で見ると、60歳代以下は「問題だと思う」が5割前後で最も高くなっている。70歳以上は「場合によっては問題ではない」が最も高く、また「問題だと思う」は約3割にとどまっている。(図表 4-1-10)

【図表 4-1-11 性別 カ. 女性と男性で役割に差があるのは差別ではなく区別である場合が多い】



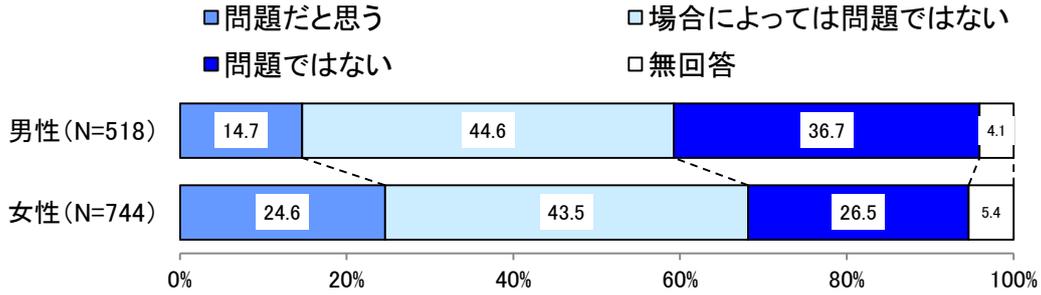
「カ. 女性と男性で役割に差があるのは差別ではなく区別である場合が多い」を性別で見ると、男女ともに「問題だと思う」は15%程度となっている。「場合によっては問題ではない」は女性が男性と比べて11.5ポイント高く、「問題ではない」は男性が女性と比べて15.6ポイント高くなっている。(図表 4-1-11)

【図表 4-1-12 年齢別 カ. 女性と男性で役割に差があるのは差別ではなく区別である場合が多い】



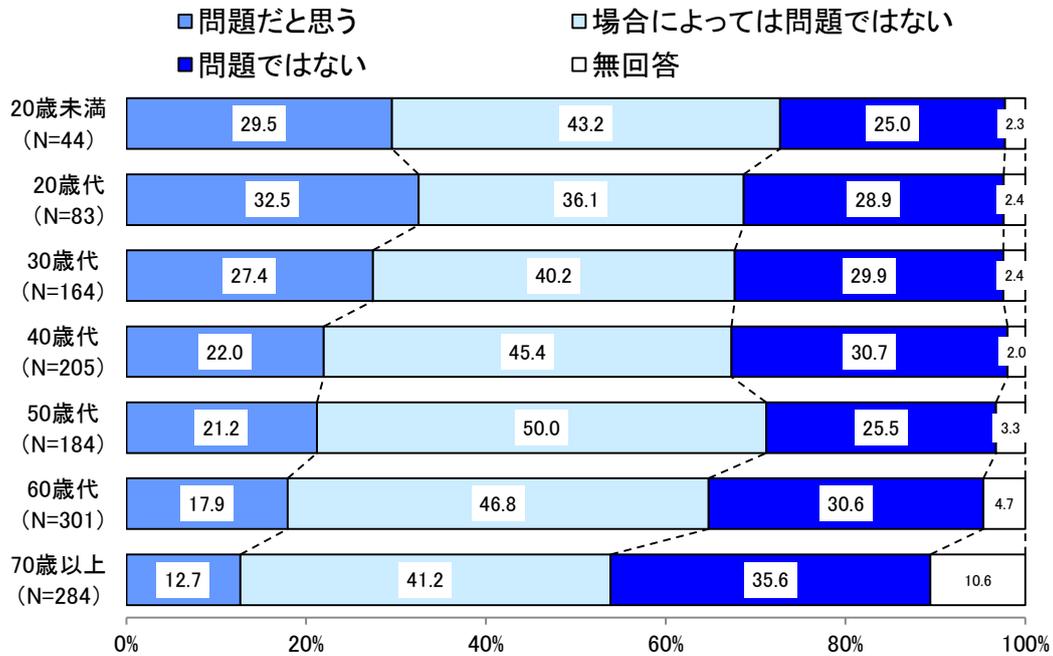
「カ. 女性と男性で役割に差があるのは差別ではなく区別である場合が多い」を年齢別で見ると、「問題だと思う」は20歳代が最も高くなっているが、割合は約2割にとどまっている。それ以外の年齢は「問題だと思う」が2割を下回っている。「問題ではない」は70歳以上が39.1%で最も高く、次いで60歳代が35.2%、30歳代が34.1%となっている。20歳未満は「場合によっては問題ではない」が6割を超えている。(図表 4-1-12)

【図表 4-1-13 性別 キ. 女性の方が男性より育児や介護などに向いている】



「キ. 女性の方が男性より育児や介護などに向いている」を性別で見ると、女性は男性と比べて「問題だと思う」が9.9ポイント高くなっている。(図表 4-1-13)

【図表 4-1-14 年齢別 キ. 女性の方が男性より育児や介護などに向いている】



「キ. 女性の方が男性より育児や介護などに向いている」を年齢別で見ると、「問題だと思う」はおおむね年齢が上がるにつれて低くなり、20歳代前後の年齢では約3割だが、70歳以上では1割あまりにとどまっている。(図表 4-1-14)

(2) 性別によって役割を決められたり待遇に差をつけられたりした経験

問 20 あなたは、性別によって役割を決められたり待遇に差をつけられたりした経験がありますか。もしそのような経験があれば、どのような内容であったか、覚えている範囲でご記入ください。

【図表 4-2 回答件数】

年齢 性別	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不詳	合計
女性	3	21	24	29	16	17	23	1	134
男性	6	5	14	9	14	19	25	0	92
不詳	0	1	0	0	0	0	0	1	2
合計	9	27	38	38	30	36	48	2	228

【性・年齢別 主な内容】

【家族・家庭関係について】

- (20歳代 女性) 女の子なのだから、部屋をきれいにしろとか。
- (30歳代 女性) 「男性から先に食事を取る」、「男性だから、食事が一品多い」、「『男のもの』『女のもの』と呼ぶ」、「女手があるのに男を動かして…」などと言われる。
- (40歳代 女性) 子どものころ、男兄弟は家事の手伝いをしなかった。「女のくせに」と言われたことがある。
- (40歳代 女性) 女を理由に家の手伝いをさせられた結果、大人になり、家事が得意になり良かった。男、女、関係なく手伝いをすれば良いと思う。
- (50歳代 女性) 女ばかりの姉妹なので、親に生まれた時からはずれあつかいされた。
- (50歳代 女性) 夫は家事などをしません。子どもは3人いるのですが、ある日、次男(当時、小学5年生)が洗い物をしてくれて、助けてくれていました。それを見た主人が次男に「みっともない事するな！」と食器の洗い物をやめさせたのを覚えています。私は毎日みっともない事をしているのかと、ショックを受けました。
- (50歳代 女性) 女性は家庭を守り子育て、介護をすべきだと決めつけられていました。
- (50歳代 男性) 男は家族を養わないといけない。
- (60歳代 男性) 経済的に一家をささえる必要があるので、つらいと思った事がある。
- (70歳以上 女性) 夫の両親の世話を全部しても当たり前と言われた。親の相続は自分の物と決めつける。
- (70歳以上 男性) 男は家庭を守るべし。

【採用・雇用条件、職場環境について】

- (20 歳代 女性) 女だから受けた面接を落とされたことがある。
- (20 歳代 女性) 女性だからと言って雇ってもらえなかった (建設会社)。
- (20 歳代 男性) 性別で就職活動が左右される。事務は女と言われた。男でもしたい。
- (20 歳代 女性) 私の働く会社では、女性であることで制限されることがあります。女性と男性では業務内容に差がある上に、女性は役職につくことは現実的に不可能といわれています。(表面上は女性の活躍等唱っていますが…)
- (20 歳代 女性) 職場で、マタハラがあった。妊娠が分かったとたん、部署の長がその人に「仕事をやめてくれ。なんもできへんのに。」などと、どなったことがあった。その人が、人事課に言いに行ったら、注意をうけたのか、今は落ちついている。
- (20 歳代 女性) 会社で、先輩社員から「もっと女を売っていけ」と言われた。
- (20 歳代 女性) 仕事内容は変わらないのに、会議中など、女だからお茶くみ等の仕事をしなければならないこと。
- (20 歳代 女性) 女性社員にのみお茶くみや清掃を義務づけている。
- (20 歳代 男性) 職場で、何かの準備 (会議など) の際、机やイスの移動は男性、女性は受付やお茶配りと分けられているが、向き不向きもあるので都合だと思っている。
- (30 歳代 女性) 再就職時、独身女性の状態であったが、契約社員からのスタートであった。全員そのようなシステムと言われたが、その後採用された既婚男性は正社員スタートであった。
- (30 歳代 女性) 2 人の子を出産後、能力は変わらないのに時短を理由に社員からバイトになった。
- (30 歳代 女性) 性別によってではないが、妊娠した時に育児休暇をとろうとしたら会社をやめると上司から言われたことがある。
- (30 歳代 女性) 育休を夫にも取得して欲しかった。夫の周り (職場) が取得しにくい雰囲気だったよう。夫も育休を取得することにプライドがきずつくのか (?) いやがっていた。
- (30 歳代 男性) 父親として育休がとれない。とりにくい環境にあり。妻に負担がかかっている。
- (30 歳代 男性) 今は男性役職者は不要と、昇格を先のぼしされた。
- (30 歳代 女性) 男の職場で、女だから 9 時 (PM) までしか働いてはダメと言われた。違う部署の 50 過ぎの女性から、ちやほやされているとか、女なのにこれはしてはダメとか言われた。
- (30 歳代 女性) 職場で男性職員と言い合いになった際「女は『はい』だけ言っとけばいいんや!」と怒鳴られ、ひどく憤りを感じた。
- (40 歳代 女性) 大学 4 年の企業資料の量に男女差があった。
- (40 歳代 女性) 就職の時、男性は総合職、女性は一般職採用で、女性が総合職になるには昇給試験を受けなければならなかった。
- (40 歳代 女性) 一度、職についた時、営業職を希望したところ「女性には体力的にも精神的にも無理だ」と頭から決めつけ、とりあってももらえなかった (募集の時点では男女で募集されていたのに)。
- (40 歳代 女性) 「女のくせに」や「女は少々バカでも失敗しても笑えば許される。だから笑え。」

コンビニバイト先での幹部の発言。

- (40 歳代 女性) 職場において女性事務員は、正社員であってもパートタイマーのような扱い、「女の子」と呼ぶ。
- (40 歳代 男性) サービス業などのお茶出し等。
- (50 歳代 女性) 職場での掃除、お茶だしが、女性の仕事として当然とされている点、男性の仕事が女性躍進として平等化されるなか、女性の仕事は、男性にはそのままなので負担が増えている。
- (50 歳代 男性) 会社で男性がお茶くみをしなくてよい。
- (60 歳代 女性) 職場で新しい技術などが導入される時など、同じ仕事をしているにもかかわらず、技術の講習や習得は男性の方が必ず優先される。女性は補助的な仕事から抜けられないので昇格などにも明らかに差が生じる。
- (60 歳代 男性) 女性の管理職が少ない。
- (60 歳代 男性) 会社員だったので転勤があり、単身赴任等も男性の場合、生活の為やらざるを得ない。
- (60 歳代 女性) お腹に子どもがいる時、職場で冷たい目で見られたりした。
- (60 歳代 女性) 職場で、お茶を出したり朝の机のふき掃除等は、女性の役割でしたが、特に不満を感じた事はありません。
- (70 歳以上 女性) 社会人になり仕事を持った時の給料の差。これは同じ仕事をすれば同一でなければと思います。
- (70 歳以上 女性) 男性に負けない様に働いても給料はいつも低かった。
- (70 歳以上 女性) 特になし。男性と同等に仕事をしてきたと思う。
- (70 歳以上 男性) 「出張業務」は男性優先とされる。「トラブル解決」や「揉め事対応」は、男の役割りとする。宿直、残業等は、男性に重点を置く等の扱いを受けた。当然と思っているが。

【その他】

- (20 歳未満 男性) 掃除の時など、「力仕事は男子がやりなさい」などと言われたことがある。
- (20 歳代 女性) 妊婦の時、公共交通機関で中年男性に冷たく厳しい態度をとられたことがあります。
- (20 歳代 女性) 特にないが、自分に不都合な事に対しては差別だ！と主張するがレディース割引などの良い事は受け入れているのは理解に苦しむ。自分勝手な主張にしか感じられない。
- (30 歳代 女性) 結婚したとき自分の姓を名のりたかったが、夫と親達の希望で夫の姓になってしまった。
- (30 歳代 女性) 結婚する時、姓を変えることは何も抵抗がなかったが、離婚して旧姓に戻す際、すべて名義変更をしなければいけないのは女性の方で、とても辛かったし、時間と労力がいった。この時平等ではないと実感しました。
- (30 歳代 女性) 力仕事等は、重いものは男性がしてくれて助かった。
- (30 歳代 男性) 小中学校での教科にしても違いがあったし、問 19 のような事柄であれば、日常身の回りに常在している印象はある。

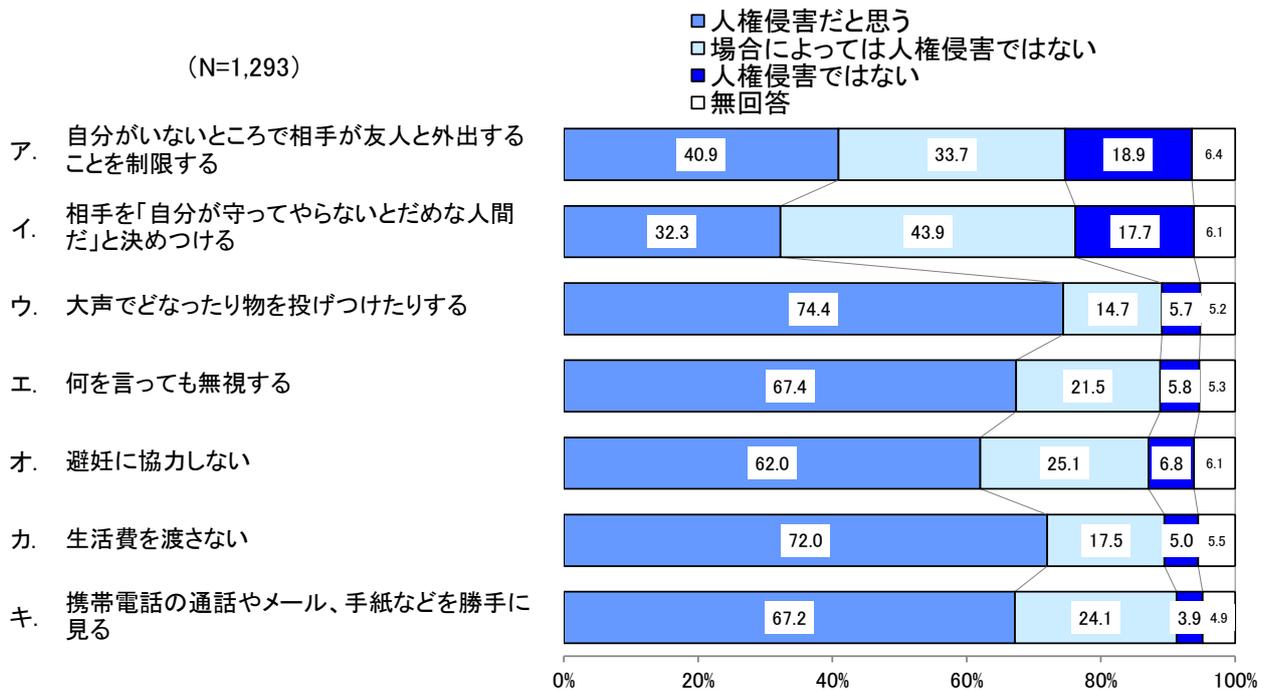
- (40 歳代 女性) 4 年制大学に行く必要ないと思われた。
- (40 歳代 女性) 特になし。女性、男性にこだわらず、仕事や家事は出来る人がすれば良いと思う。
- (40 歳代 男性) 宴会などで支払が多くなる。
- (50 歳代 女性) 差をつけられたと感じることはない。女性しかできないこともあると思う。
- (50 歳代 男性) 女性専用車両や女性専用が多い。
- (50 歳代 男性) 「男だから…」「男のくせに…」と言われたことが、そういうことなのかなと思います。
- (60 歳代 女性) 祖父と父がいつも「女のくせに」とか「女に学問はいらない」と言っていた。母が守ってくれて、大学まで行くことができた。会社は男尊女卑で、女性の給料は男性の 70%くらいだった。部屋の掃除、お茶入れなどは女性のみ早出しをする必要があった。
- (60 歳代 男性) 子どもの頃、近所では「男の子だからしっかりしなさい」とか「女の子みたいになよなよしてたらだめだよ」とか言われていました。
- (60 歳代 女性) 世代的には性別役割分担の時に結婚しているので、常に男は外で働く、女は内助の功を無意識に植えつけられている。
- (60 歳代 女性) シルバー人材センターの紹介で仕事に行っていましたが、雇い主の都合で、仕事の内容（男の人は受付、女はお茶）から、結局、男の人が全部する事になり、私はやめなければなりませんでした。
- (60 歳代 男性) 村まつりの際、女性の参加者は雑用的な仕事ばかり。
- (70 歳以上 女性) 昭和一桁時代生まれで、男性を立てる様に育ったので、男の人に逆らえなかった。
- (70 歳以上 男性) 女性、男性と意識する時代ではない。
- (70 歳以上 男性) 従来は、指揮、命令する人、リーダーを選出する場合、女性だからという理由で、避ける傾向があったが、最近はかなり改善されていると思う。
- (70 歳以上 男性) 力仕事は、男性がすると思っていたが、今はどちらでもよいと思う。

(3) 恋人や配偶者間での人権侵害

問 21 次のような行為が恋人や配偶者間で行われた場合、人権侵害だと思いますか。
(それぞれあてはまる番号 1 つに○)

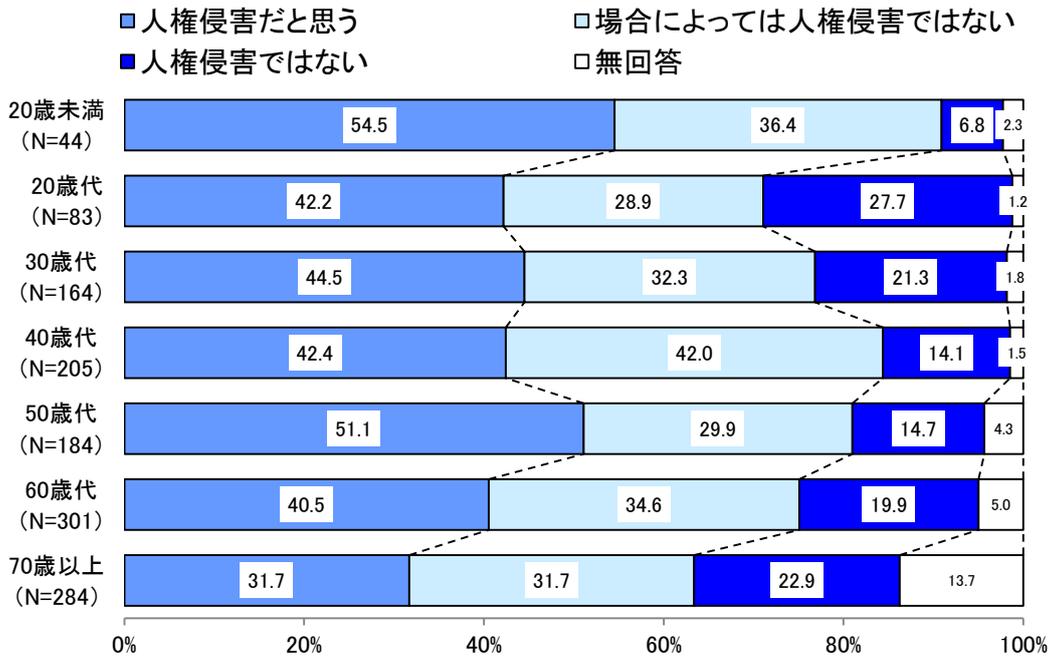
【図表 4-3 恋人や配偶者間での人権侵害】

(N=1,293)



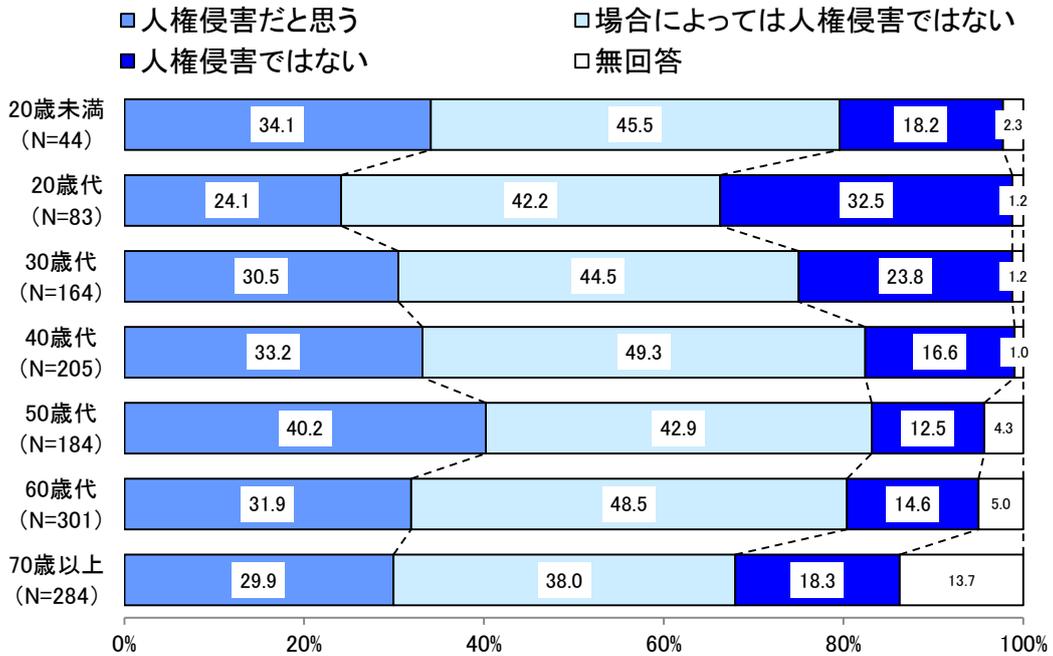
恋人や配偶者間での人権侵害について、「人権侵害だと思う」が最も高くまた 6 割を超えている項目は「ウ. 大声でどなったり物を投げつけたりする」(74.4%)、「エ. 何を言っても無視する」(67.4%)、「オ. 避妊に協力しない」(62.0%)、「カ. 生活費を渡さない」(72.0%)、「キ. 携帯電話の通話やメール、手紙などを勝手に見る」(67.2%)となっている。「ア. 自分がいないところで相手が友人と外出することを制限する」は「人権侵害だと思う」が最も高いものの 40.9%にとどまっている。「イ. 相手を「自分が守ってやらないとだめな人間だ」と決めつける」は「場合によっては人権侵害ではない」が 43.9%で最も高くなっている。(図表 4-3)

【図表 4-3-1 年齢別 ア. 自分がいないところで相手が友人と外出することを制限する】



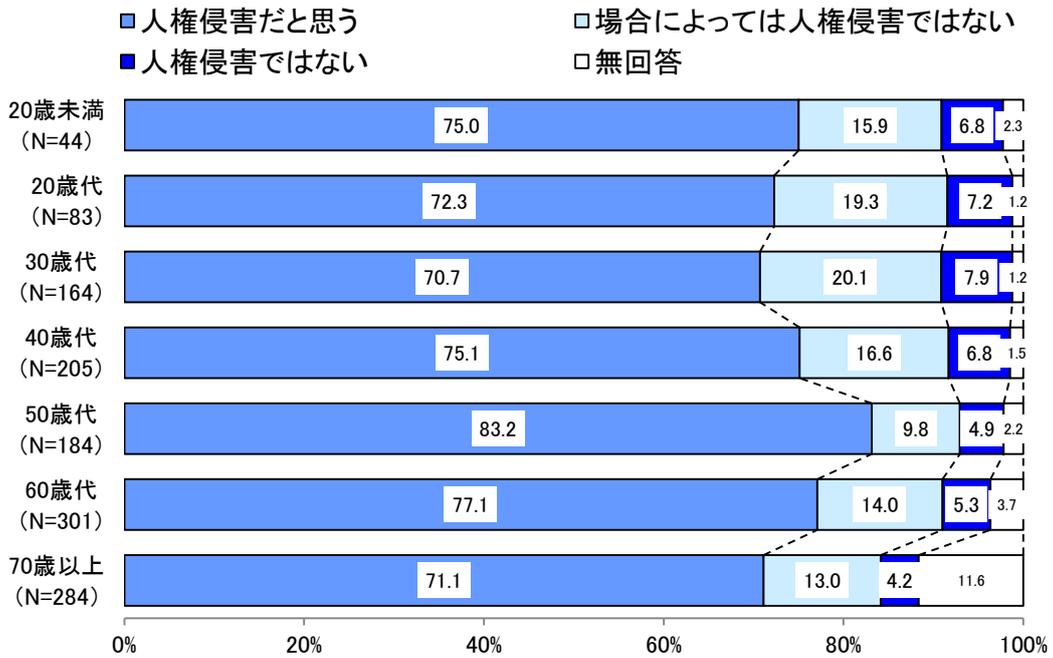
「ア. 自分がいないところで相手が友人と外出することを制限する」を年齢別で見ると、「人権侵害だと思う」は20歳未満と50歳代では半数を超えているが、それ以外の年齢では半数を下回っており、特に70歳以上では約3割にとどまっている。「場合によっては人権侵害ではない」はいずれの年齢でも約3~4割を占めている。「人権侵害ではない」は20歳代が27.7%で最も高く、次いで70歳以上が22.9%、30歳代が21.3%となっている。(図表 4-3-1)

【図表 4-3-2 年齢別 イ. 相手を「自分が守ってやらないとだめな人間だ」と決めつける】



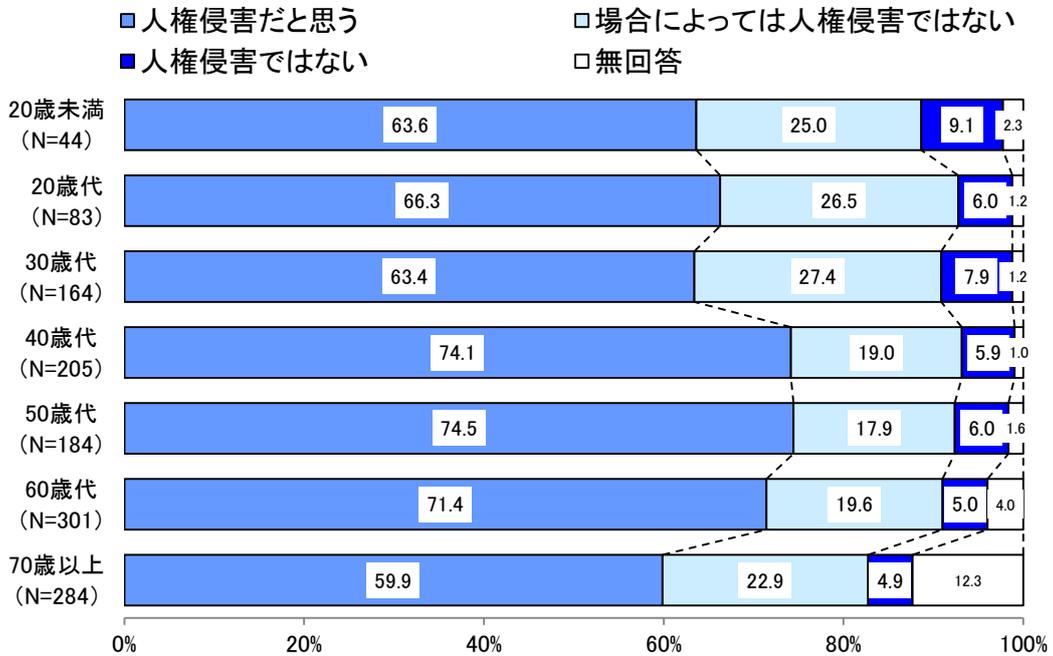
「イ. 相手を「自分が守ってやらないとだめな人間だ」と決めつける」を年齢別で見ると、「人権侵害だと思う」は50歳代が40.2%で最も高く、次いで20歳未満が34.1%、40歳代が33.2%となっている。20歳代は「人権侵害だと思う」が最も低く、また「人権侵害ではない」が最も高い年齢となっている。(図表 4-3-2)

【図表 4-3-3 年齢別 ウ. 大声でどなったり物を投げつけたりする】



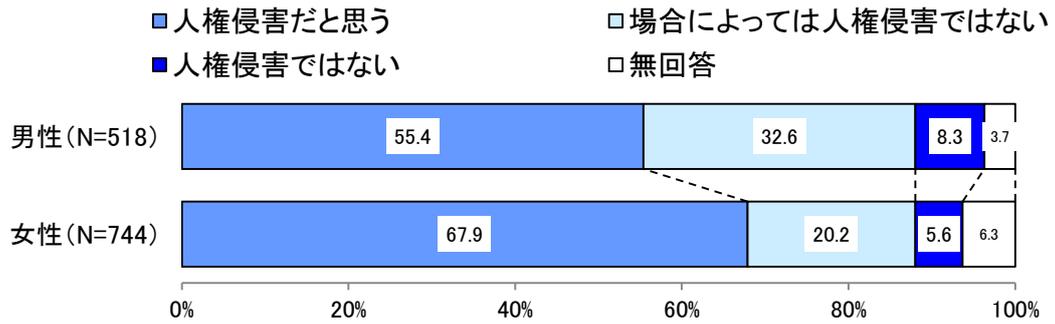
「ウ. 大声でどなったり物を投げつけたりする」を年齢別で見ると、いずれの年齢でも「人権侵害だと思う」が7割を超えている。「人権侵害ではない」（「場合によっては人権侵害ではない」と「人権侵害ではない」を合わせた数）は50歳代以上では1割台だが、40歳代以下では2割を超えている。（図表 4-3-3）

【図表 4-3-4 年齢別 エ. 何を言っても無視する】



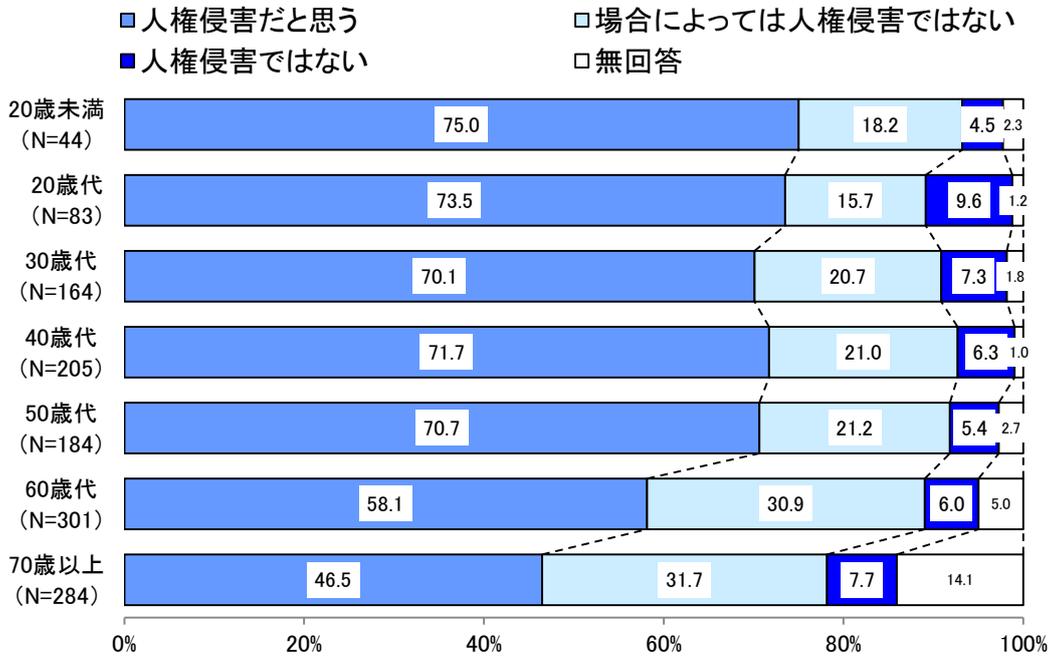
「エ. 何を言っても無視する」を年齢別で見ると、いずれの年齢でも「人権侵害だと思う」が約6~7割となっている。「人権侵害ではない」（「場合によっては人権侵害ではない」と「人権侵害ではない」を合わせた数）は40歳代以上では2割台だが、30歳代以下では3割を超えている。（図表 4-3-4）

【図表 4-3-5 性別 オ. 避妊に協力しない】



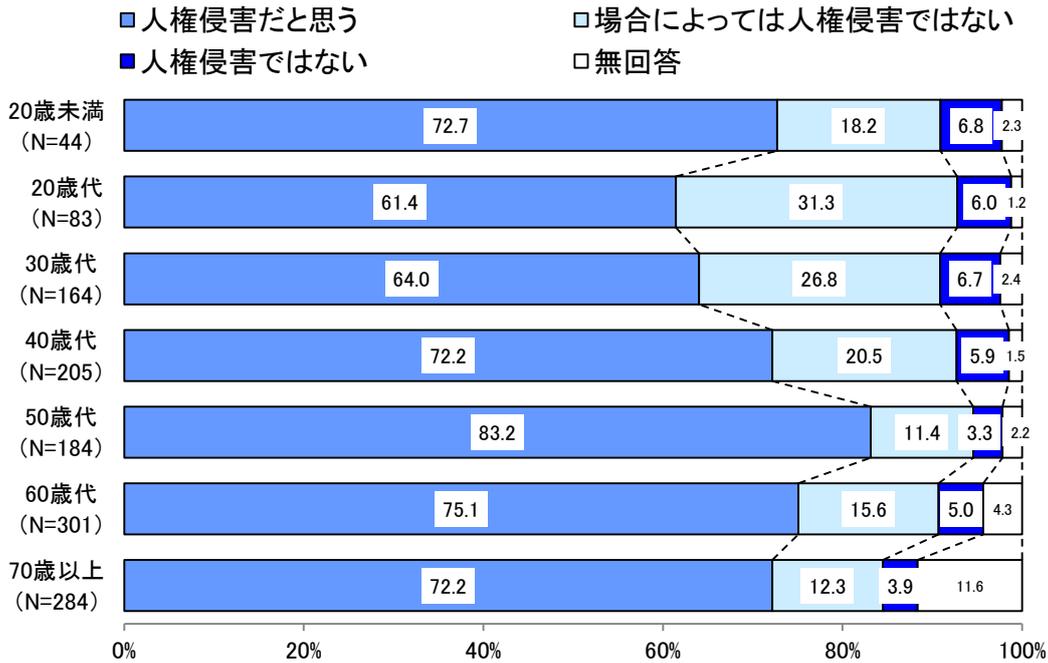
「オ. 避妊に協力しない」を性別で見ると、女性は男性と比べて「人権侵害だと思う」が12.5ポイント高くなっている。(図表 4-3-5)

【図表 4-3-6 年齢別 オ. 避妊に協力しない】



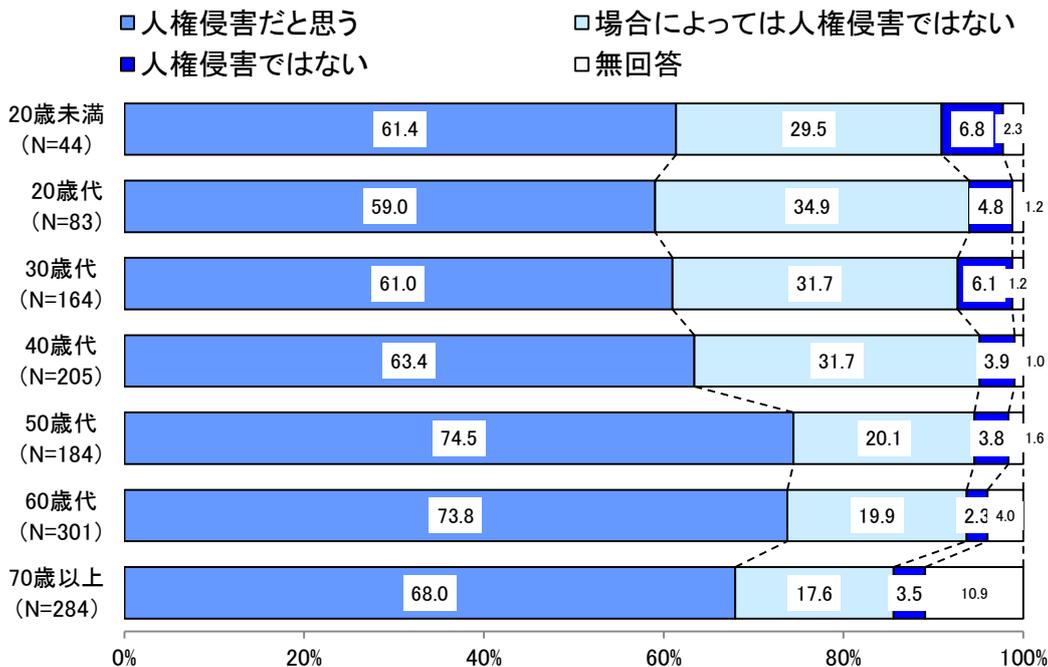
「オ. 避妊に協力しない」を年齢別で見ると、「人権侵害だと思う」は50歳代以下では7割を超えているが、60歳代以上では6割を下回っている。特に70歳以上は半数を下回っている。(図表 4-3-6)

【図表 4-3-7 年齢別 カ. 生活費を渡さない】



「カ. 生活費を渡さない」を年齢別で見ると、「人権侵害だと思ふ」は50歳代が83.2%で最も高く、次いで60歳代が75.1%、20歳未満が72.7%となっている。20歳代と30歳代は「人権侵害だと思ふ」が6割あまりにとどまっている。(図表 4-3-7)

【図表 4-3-8 年齢別 キ. 携帯電話の通話やメール、手紙などを勝手に見る】



「キ. 携帯電話の通話やメール、手紙などを勝手に見る」を年齢別で見ると、「人権侵害だと思ふ」は40歳代以下では6割前後、50歳代以上では7割前後となっている。(図表 4-3-8)